

平成20年度 第1回環境審議会会議録

日時	平成20年9月24日(水)午後1時30分～3時45分
場所	市長公室
出席者 (欠席者)	審議会委員  出席者 長谷川会長、二瓶委員、高橋委員、持田委員、須藤委員、 北澤委員、石塚委員、斎藤委員、中澤委員、秦委員、 大和田委員、干場委員、谷脇委員  欠席者 竹内委員、宮嶋委員  市：環境課(事務局) 市長、北村副部長、前野環境課長、石井副課長、岡主査
会議次第	別紙のとおり
添付資料	別紙のとおり
備考欄	

会議名：平成20年度 第1回富士見市環境審議会 会議録

- 1 開 会  
環境課長あいさつ、進行司会
- 2 委嘱状交付  
1) 環境審議会委員名簿順に紹介する  
2) 委嘱状代表受領 長谷川委員
- 3 市長あいさつ  
富士見市長 星野 信吾
- 4 閉 会  
環境課長

引き続き<環境審議会 第1回会議>

- 1 開 会  
環境課長進行司会
  - 2 委員紹介  
各委員が名簿順に自己紹介する
  - 3 議 事  
仮座長選出 市長が選任・進行する
    - (1) 会長、会長代理の選出
      - ・会長選出 各委員に自薦・他薦を提案、出席委員が長谷川委員を推薦する、他委員意義なし。了承。
      - ・長谷川委員会長のあいさつ
      - ・会長代理選出 自薦・他薦なし、竹内委員を推薦する、他委員意義なし。了承。
    - (2) 環境審議会について
      - ・事務局、各委員配布資料の確認をする。
      - ・事務局、副課長 別紙、資料「富士見市の環境」により報告・説明する。
    - (3) 報告事項
      - 1) 環境基本計画(改定版)について
      - 2) 富士見市の環境について
      - 3) 平成20年度環境施策について
        - ・事務局、課長 別紙、配布資料に基づき順に説明する。
        - ・報告後、質疑に入る
- 委 員 環境基本計画のP9 - 「行政」黒丸7項目の「ノーカーデーを推進～」の表現が前基本計画と比較し項目が減って後退しているのか。
- 委 員 市では曜日が決まっている。広報に出した方がと言った経緯がある、基本計画の中身は目標だけであり、具体的数値、日時を決めて、ノーカーデーの具体的な施策を作りもう一步進めては。
- 事務局 エネルギーの各項目の具体策で相対的な表現と具体的記述をしている。また、市の現状を早急に変えるのが難しい。公共交通機関の基盤が弱く道路も狭い、市内巡回バスの道路網が一部カバーをしているが、不便を早期に改善できない。
- 基本計画では、ある意味で理想像として記述としており、少しずつ努力を喚起し進めます。
- 環境基本計画の「事業者」「市民」向けの概要版(環境パスポート)を作成しま

したので、普及・啓発する伴に中に印刷したチェックシートの利用も含めて進行管理を検討したいと思います。

委員 基本計画の中の教育項目で、基本計画が出来た時点で学校等に呼びかける必要がある。

事務局 環境課を含め進行管理についての課題が現時点で未定であり、今後、整理し明確にする必要があります。

委員 湧き水について、水質、水量検査について

質問の主旨は、計画が「いのち豊かな里～」を目指してとしており、市が率先して、データを持って指導を行ったり、どこから浸透した水が湧いているのか等少しでも良いからやっている富士見市のイメージが大切、市民も熱心になる。

東京都国立市では、地下水を市民に飲用をしてもらっている。

オオタカの森、がけの上のマンション建設で、水の水脈調査データを生かし把握することで、改善を進めている。

事務局 市内の湧水の飲用は全て無理。また、市内井戸は県で調査している、亜硝酸が少し検出されている。

(4) その他

職員紹介

北村副部長から前野環境課長、石井副課長、小出ごみ対策係長、岡保全係主査。

4 閉 会

環境課長が閉会のあいさつ